

日本語教育における多様な作文指導形態へ対応した Web ベース作文支援システム

山口昌也(国立国語研究所)

棚橋尚子(奈良教育大)

■ 概要

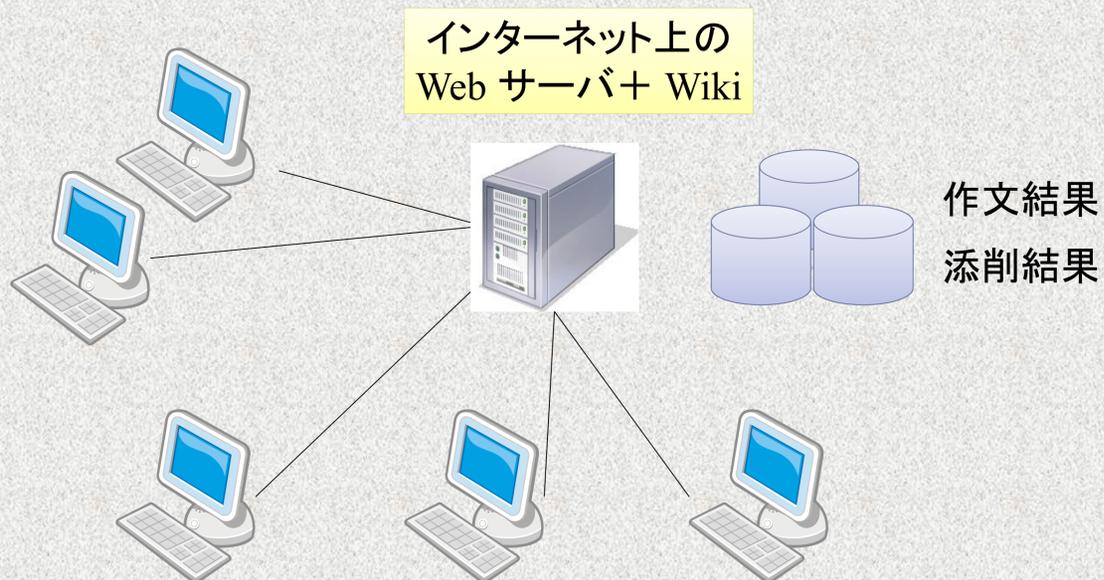
● 作文支援システムTEachOtherS

- Web ベースの学習者向け作文作成支援システム
- 学習者, 教師, TEachOtherS が互いの知識を教えあうことにより, 学習者の効果的・自発的な作文技術習得を目指す
- 大学の日本語文章表現の授業での運用を想定して開発

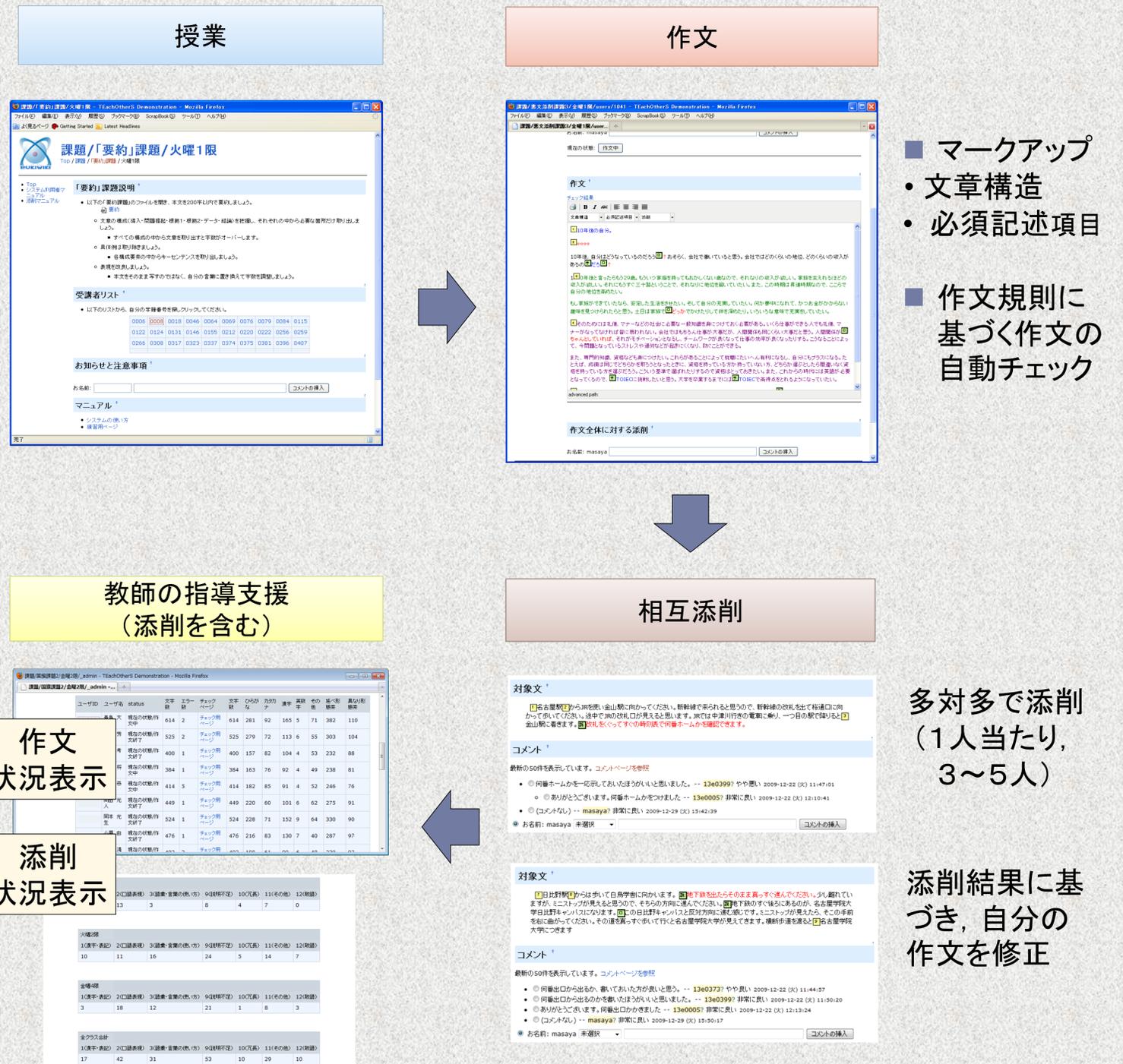
● 本研究の目的

- 海外の日本語教育への適用を模索
- いくつかの作文指導方法に対応した運用方法を提案
 - L2(学生, 作文, 日本国外) ⇔ L1(学生, 添削, 日本国内)
 - L2(学生, 作文・添削, 日本国外) ⇔ L2(学生, 作文・添削, 日本国外)

■ システム構成

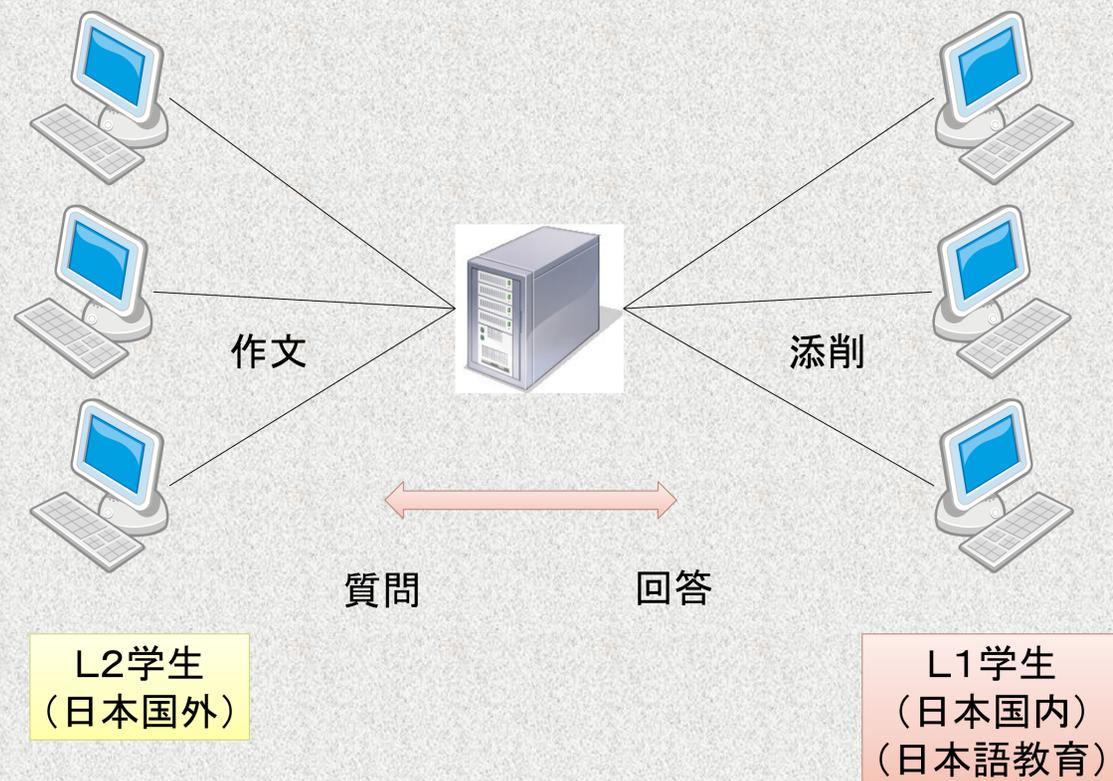


■ 基本的な利用の流れ

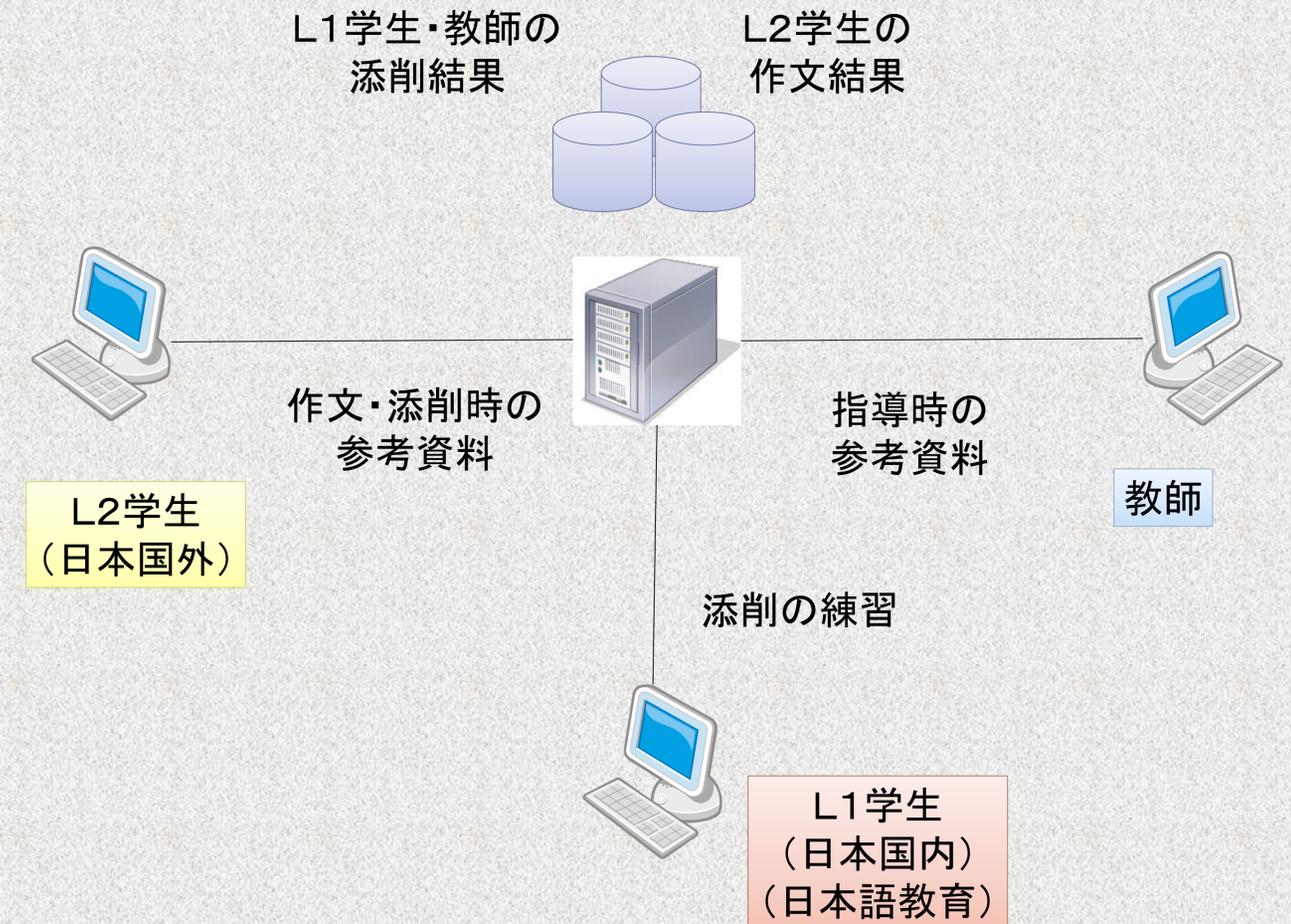


- マークアップ
 - 文章構造
 - 必須記述項目
- 作文規則に基づく作文の自動チェック

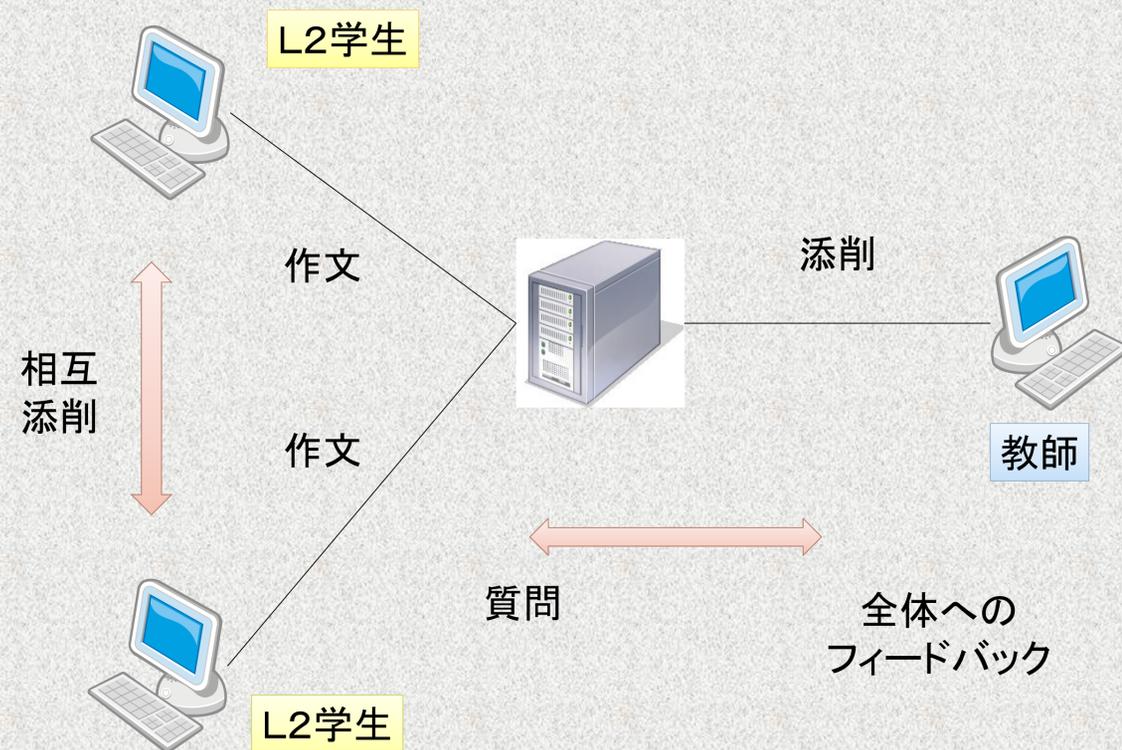
■ L2学生(作文) ⇔ L1学生(添削)



■ 作文・添削データベースとしての利用



■ L2学生(作文・添削) ⇔ L2学生(作文・添削)



■ まとめ

■ 日本語教育のための運用形態を提案

- L2学生(作文) ⇔ L1学生(添削)
- L2学生(作文・添削) ⇔ L2学生(作文・添削)
- 作文・添削データベースとしての利用

■ 適切な運用形態とするための調整事項

- 作文課題で習得される作文技術(何を学ぶために作文するのか)
- ターン数(添削は何往復ぐらい実施するか。実施するには同期が必要)
- 添削形態(1対多, 多対多: 一人のL2学習者に何人の添削者をつけるか)
- 作文規則
 - 例1: 作文には「章」が三つ以上ある。
 - 例2: 作文には「問題提起」がある)